

予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。  
IPEA / JP

## 特許協力条約に基づく国際出願 国際予備審査請求書

### 第Ⅱ章

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

国際予備審査機関自己入力欄

国際予備審査機関の確認

請求書の受理の日



第Ⅰ欄 国際出願の表示		出願人又は代理人の登録記号 147281-136
国際出願番号 PCT/JP2004/004246	国際出願日 (日、月、年) 26.03.04	優先日 (最先のもの) (日、月、年) 26.03.03
発明の名称 機能性部材ならびにその製造のための方法および塗布液		
第Ⅱ欄 出願人		
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 東陶機器株式会社 TOTO LTD. 802-8601 日本国福岡県北九州市小倉北区中島二丁目1番1号 1-1, Nakashima 2-chome, Kokura-kita-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka 802-8601 Japan		電話番号: ファクシミリ番号: 加入電信番号: 出願人登録番号:
国籍 (国名): 日本国: JAPAN	住所 (国名): 日本国: JAPAN	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 亀島 順次 KAMESHIMA Junji 802-8601 日本国福岡県北九州市小倉北区中島二丁目1番1号 東陶機器株式会社内 c/o TOTO LTD., 1-1, Nakashima 2-chome, Kokura-kita-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka 802-8601 Japan		
国籍 (国名): 日本国: JAPAN	住所 (国名): 日本国: JAPAN	
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 新美 泰志 NIIMI Yasushi 802-8601 日本国福岡県北九州市小倉北区中島二丁目1番1号 東陶機器株式会社内 c/o TOTO LTD., 1-1, Nakashima 2-chome, Kokura-kita-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka 802-8601 Japan		
国籍 (国名): 日本国: JAPAN	住所 (国名): 日本国: JAPAN	
<input type="checkbox"/> その他の出願人が続葉に記載されている。		

## 第Ⅱ欄の統合 出願人

この第Ⅱ欄の統合を使用しないときは、この用紙を国際特許審査請求書に含めないこと。

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

中西 真 NAKANISHI Makoto

802-8601 日本国福岡県北九州市小倉北区中島二丁目1番1号

東陶機器株式会社内

c/o TOTO LTD., 1-1, Nakashima 2-chome, Kokura-kita-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka  
802-8601 Japan

国籍（国名）： 日本国：JAPAN

住所（国名）： 日本国：JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

大橋 英子 OHASHI Eiko

802-8601 日本国福岡県北九州市小倉北区中島二丁目1番1号

東陶機器株式会社内

c/o TOTO LTD., 1-1, Nakashima 2-chome, Kokura-kita-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka  
802-8601 Japan

国籍（国名）： 日本国：JAPAN

住所（国名）： 日本国：JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：



その他の出願人が他の統合に記載されている。

## 第III 材料 代理人又は共通の代表者、通知のあて名

下記に記載された者は、 代理人 又は  共通の代表者 として

既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。

今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表者は解任された。

既に選任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手続きのために、今回新たに選任された者である。

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

7581 弁理士 吉武賢次 YOSHITAKE Kenji  
〒100-0005 日本国東京都千代田区丸の内三丁目2番3号  
富士ビル323号 協和特許法律事務所  
Kyowa Patent & Law Office, Room 323,  
Fuji Bldg., 2-3, Marunouchi 3-chome,  
Chiyoda-ku, TOKYO 100-0005 JAPAN

電話番号：  
03-3211-2321

ファクシミリ番号：  
03-3211-1710

加入電信番号：

代理人登録番号：

通知のためのあて名：

代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。

## 第IV 材料 国際予備審査に付する基本資料

補正に関する記述：\*

1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。

出願時の国際出願を基礎とすること。

明細書に関して  出願時のものを基礎とすること。  
 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

請求の範囲に関して  出願時のものを基礎とすること。  
 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正（添付した説明書も含む）を基礎とすること。  
 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

図面に関して  出願時のものを基礎とすること。  
 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

2.  出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。

3.  出願人が国際予備審査の開始を規則69.1(d)に基づき適用される期間の満了まで延期することを希望する。

4.  出願人が国際予備審査を規則54の2.1(a)に基づき適用される期間の満了よりも早く開始することを明示的に希望する。

\*記入がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関から補正（原本又は写し）を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正（原本又は写し）を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。

国際予備審査を行うための言語は、日本語 であり、

国際出願の提出時の言語である。  
 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。  
 国際出願の公開の言語である。  
 国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。

## 第V 材料 國の選択

この様式を用いてされた国際予備審査の請求は、指定され、かつPCT第II章に拘束される全ての締約国を選択する国際予備審査の請求となる。

## 第VI欄 共同合意欄

この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記載する言語による下記の書類が添付されている。

1. 国際出願の翻訳文.....
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書.....
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書  
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し.....
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書  
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し.....
5. 翻訳.....
6. その他 (書類名を具体的に記載) :

国際予備審査請求書  
自己入欄

受領	未受領
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。

1.  手数料計算用紙
2.  納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面
3.  国際事務局の口座へ振込を証明する書面
2.  個別の委任状の原本
3.  包括委任状の原本
4.  包括委任状の写し (あれば包括委任状番号) :

5.  記名押印 (署名) の欠落についての説明書
6.  コンピュータ読み取り可能な形式による配列表
7.  コンピュータ読み取り可能な形式による配列表に適応するテーブル
8.  その他 (書類名を具体的に記載):

第VII欄 出原本人、代理人又は共通の代表者の自己名押印  
各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。

吉武賢次

## 国際予備審査請求書自己入欄

## 1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日

## 2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付

3.  優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。  
ただし、以下の4,5の項目にはあてはまらない。  
 出願人に通知した。
4.  規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理
5.  優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。

6.  規則54の2.1(a)の期限の経過後の国際予備審査請求書の受理。  
ただし、以下の7,8の項目にあてはまらない。
7.  規則80.5により延長が認められている規則54の2.1(a)の期限内の国際予備審査請求書の受理。
8.  規則54の2.1(a)の期間の経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。

## 国際事務局自己入欄

国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日: